

事業報告

I 無料就労あっせん事業

1 あっせん方法

センターの無料就労あっせんは、職業安定法第33条により労働大臣の許可を受けた無料職業紹介事業として行なわれ、あっせん方法は、求職者（労働者）と求人者（事業主）の双方が労働条件をもとに直接話し合っ（口頭契約）雇用の成立をはかる「相互選択方式」である。この方式は、大阪府労働部西成分室（センターの前身）が開設された昭和36年9月1日（いわゆる釜ヶ崎事件は同年8月1日より採用している）

あっせん場所は西成区東四条三丁目の国道尼ヶ崎一平野線が東西に走る長さ300m、幅30m（南海電車新今宮駅ガードから国道26号線まで）の青空路上を使用している。これは、センター附属の寄場が狭いためである。

あっせん時間は、日曜、祭日も休みなく毎朝、午前5時45分から同8時迄である。

ここに集散する労働者は3,000人（冬場）から7,000人（夏場）で、地域の労働者の三分の一から四分の一を占めている。労働者を運ぶ求人者のバス、マイクロバス、自家用車などはピーク時の7時現在で約120台が駐車し、他に通行中の車も往来し、相当な危険ともなっている。

2 就労数

本年度の就労あっせんは、求人延件数48,590件（前年度37,887）、就労延人員761,987名（同641,971）と、昨年度より約10,700件（25.6%）、12万名（18.8%）の大幅な増加となった。これは、これ迄の最高記録を示した昭和42年度と比較しても6,910件、約6万名多く、それぞれセンター開設以来の最高記録を書きかえた。

その理由はいろいろ考えられるが、①わが国の労働市場のいわゆる「人手不足」のはねかえりとして、当地域の日雇労働者への求人開拓が進んできたこと、②しかも、この傾向は各産業の下請化の拡大の波及として、下請事業所への日雇い就労としてであり、④また、万国博関連事業工事の追い込み段階で、建設業において当地域労働者への需要が増大したことなどがあげられる。

さらに製造業における直行労働者の増加傾向や、港湾労働法による職業安定所への登録者の増加と常用化の増大などを考えあわせると、当地域の労働者の就労は

昭和44年4月1日

昭和45年3月31日

ここ数年の傾向の中で、本年度も一層大きく拡大したことになる。

産業別就労数では、別表のとおり大きな変化がみられ、多い順に建設業は全産業の49.5%（前年度より136,670名増）、製造業は29.6%（同20,222名増）、港湾荷役業は13.1%（同33,951名減）、陸上運送業は7.8%（同2,925名減）となっている。

このうち、建設業、製造業は年々順調に増加傾向にあり、特に建設業は就労数で前年度より56.9%増と驚異的な伸びを示した。製造業も約10%の増加を示し、堺臨海工業地帯の大コンビナートの整備などの影響を受けながら当分の間さらに増加傾向を示すものと予想される。

一方、港湾荷役業、陸上運送業は前年度以降減少傾向にあるが、本年度も約34,000名もの激減ぶりである。これは、各港における荷役量が増えているにもかかわらず、港湾労働者の常用化伸長、港湾労働法による日雇労働者の職業安定所への登録、さらに機械化などによる省力投資の進展などによるものである。陸上運送業は前年度と比較して件数では増加したが、就労数は2,925名減少した。

次に就労数を月別にみると、前年度と比較して年度初めの4～5月にやや減少したが、その他の月はすべて上まわった。特に、8・9・10月は7万台を突破した。最低の1月でも47,817名（1日平均1,711名）を記録した。

この地域における求人は作業現場が屋外であったり、港湾荷役との関連が多いことなどのため雨・風の天候の影響を強く受ける。本年度では、1月4日の55名を最低として就労数が三ケタ（999人以下）の日が31日を数えたが、これは正月の四日間を除くと大方は雨天または日曜・祭日にあたる。

ところで万国博会場建設工事への就労であるが、関係当局がもともと当地域の労働者を使用しない方針を打ち出したこともあり、前年度はほとんどなかったが、本年度は別項で述べているように相当数の就労があった。もっとも万国博関連工事においては、建設業就労数の驚異的な増加にかなりの影響を与えたことは事実であるが、その実数は把握できない。

3 残留者数（未就労）

「人手不足」といわれているが、当地域に関する限り常に労働力の供給過剰である。従って、求人があれば必ず充足され、求人数＝就労数の関係が成立する。

毎日の未就労（アブレ）は、把握できない。そこで、センターでは求人者がいなくなる午前8時現在、「寄り場」に残っている労働者の概数を「残留者数」として記録している。従って、これは未就労数を意味するのではない。本年度は、残留者数144,350名（1日平均399名）で、就労数の多少と残留者数は大旨比例していることは例年通りである。

4 賃金

賃金は総じて昨年度より200円近く上昇した。これは、センターから就労する職種のうち、圧倒的部分を占める建設業では土工・町や・片付・雑役、製造業では工具手許・会社雑役、運輸業では積卸・入出庫・肩荷役などの単純筋肉労働によって主に規定されている。他に、全体に占める率は少ないが、大工・七・鉄筋工・鉄骨工などの技能職においては500円近くの上昇もみられる。

センターを通しての労働市場における賃金の動向は、別表で明らかなように職種（主に有技能と無技能）、その日の労働力需給のバランス、天候、公共工事の予算の執行などによって影響されている。特に例年の特徴であるが、夏場（7～9月）には求人数が増大し、労働力需給のバランスがひっ迫して100～500円上昇した。

賃金の実態は、昼間8時間労働（8～5時）で1,900～2,000円が平均賃金帯である。これは昨年に比べて100～200円の上昇である。しかし、大手製造会社の雑役に下請・日雇いで就労する求人事業所で1,550円という極めて低いものが存在する一方、技能職の大工・七、鉄筋工・鉄骨工などで最低2,500円、最高5～6,000円、平均3,000円というものもある。

求人事業所の約80%は表示賃金の他に食事代または交通費を支給しているため、実質受取る賃金は、別表に示した賃金より100～200円アップしたものと考えることができる。また、技能労働者については、雇入れ契約時の表示賃金に「色をつけて」（アップして）支払うケースもみられる。

以上の定時（8～5時）の就労形態の他に夜勤（夕方7時～翌朝6時頃）やオールナイト（朝8時～翌朝6時頃）で就労し、前者で2,500～3,000円、後者で4,000～5,000円受取る者もいる。このような就労形態は、昭和41年港湾労働法施行後、港湾関係においては少なくなり、定時労働が中心になったので、製造関係の一部で若干残るに至っている。こうした変則的な労働は、安全・衛生・疲労度とその回復のための休息や栄養摂取の問題、また健全な労働力の再生産などの面から考えても種々の問題を含んでいる。

万国博工事による影響をみると、例年冬場（1～2月）に求人数が減少し、賃金も若干の下降現象を示すが、今年度は特に建設業において、下降よりむしろ上昇傾向すらみられたのは、万国博関連事業工事の影響が間接的にはねかえったとも推定できる。ただし、当地域より万国博会場内工事に就労した者の賃金は、そこにおける賃金相場よりも、センターの賃金相場に規定されて1,800～2,000円で、むしろ他より就労した者よりは低く位置付けられていた。（後述）

5 飯場労働者

以上の1日労働、1日払いの「現金仕事」の他に、住込みの飯場労働がある。飯場には、工事現場近くに寄宿舎を設けて作業期間中そこから就労するものと、他に単に労働者を宿泊させてあちこちの現場に労働者を下請としてあるいは単に供給するものがある。当地域では後者が圧倒的に多く、しかもそういう飯場求人が増加してきている。

こうした飯場は、社会的にも法的にも種々の問題をもっているため、センターでは求人登録を勧め除々に正常化を計るよう取組んでいる。今年度センターに登録した飯場は186カ所である。

センター飯場登録は、未登録で路上の手配行為を行なっている「ヤミ飯場」よりは問題が少ないが、まだなお労働行政上多くの問題を残している。（後述）

6 日雇港湾労働者

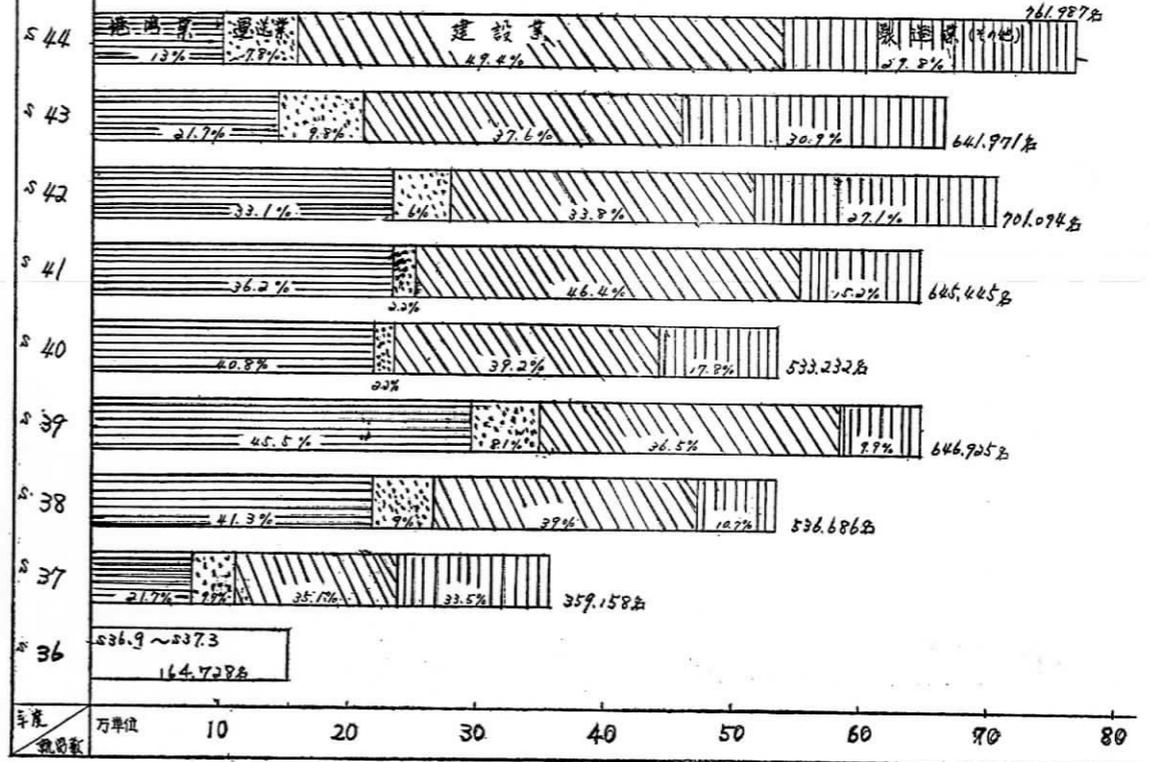
大阪港湾労働公共職業安定所扱いの昭和44年度の日雇港湾労働者職業紹介状況（別表参照）をみると、紹介数359,078人のうち愛隣地区より就労した者は、職安への登録者で183,072人（登録者総数の69.8%）、未登録者で95,577人で、合計278,649人となる。これは、全紹介者数の77.6%を占め、港湾労働法施行後常用労働者の増加にもかかわらず、大阪港湾における労働力は依然として大きく愛隣地区に依存している。

⑦ 万国博工事への就労状況

前年度迄はその影響はほとんどみられなかったが、今年度ははっきりと反応を示した。求人（就労）数では、会場内工事に1日平均（7～12月）200人前後が就労した。しかし、当地域の労働者が附近の飯場を通じて就労した数を含むと最盛時で400人近くが就労したものと推定できる。会場外の関連事業工事を含めると、相当数に昇ることになる。

しかし、賃金は前述したように年末の一時期を除くと、特に万国博工事の影響による引上げをみることはなかった。（後述）

産業別就労数の推移 (536~544)

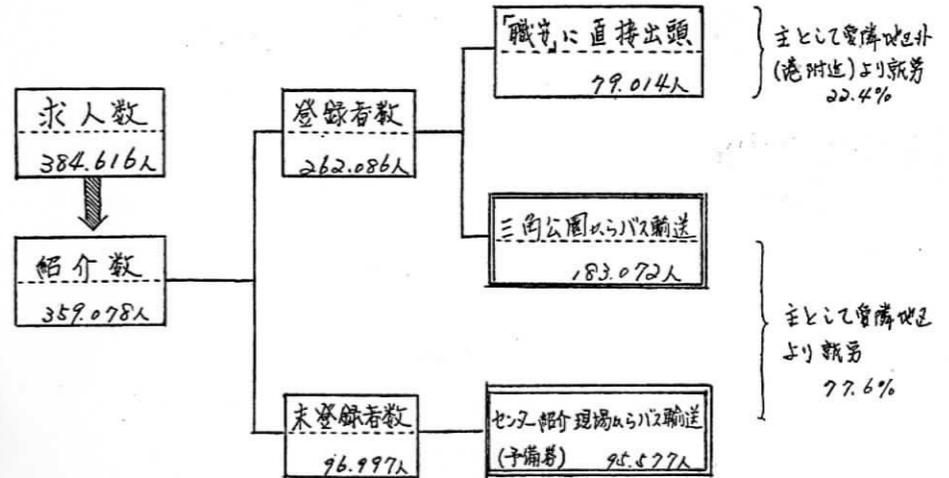


産業別求人(就労)数 (536.9~545.3)

業種	1 船内		2 運送業		3 陸上運送業		4 採炭業		5 製造業(404)		6 合計		7 AM8:00 労働者数		8 平均求人		9 最高求人		10 最低求人		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
536.9~537.3	2662	43114	72	72	2021	33318	5360	53222	4092	35064	16428	8247	68	797	106	988	1989	14	228	40	
S37年度	4235	72764	72	72	4630	47822	3081	30817	5668	55770	35958	96060	80	995	105	1070	2167	14	228	40	
S38年度	14596	224673	4763	4763	4763	52228	3081	30817	4663	4663	646925	11625	123	1270	105	1270	408	14	228	40	
S39年度	20806	291143	4763	4763	4763	52228	3081	30817	4663	4663	646925	11625	123	1270	105	1270	408	14	228	40	
S40年度	14568	217913	2287	2287	2287	10768	1083	20928	4082	30817	53322	148760	85	1480	85	1480	323	14	228	40	
S41年度	12471	224308	2287	2287	2287	10768	1083	20928	4082	30817	53322	148760	85	1480	85	1480	323	14	228	40	
S42年度	13777	232880	673	673	673	12492	1492	30014	5389	4082	645845	123400	114	1220	114	1220	408	14	228	40	
S43年度	9467	132842	673	673	673	12492	1492	30014	5389	4082	645845	123400	114	1220	114	1220	408	14	228	40	
S44年度	7968	99691	8078	8078	8078	59615	2035	37257	1089	22528	48990	148310	134	2110	134	2110	74	14	228	40	
合計	100750	1555288	4007	4007	356121	11162	1986312	45605	1074465	320528	4891226	122092									
4月	371	4534	46	46	402	5423	4682	35725	859	19025	43004	15700	17	2100	17	2100	8	14	228	40	
5	362	4156	23	23	425	5127	1452	20966	821	15920	56694	13480	110	1829	110	1829	209	14	228	40	
6	377	5180	14	14	286	422	6162	27207	921	1654	56469	12700	114	1882	114	1882	15	14	228	40	
7	898	11200	12	12	271	743	5052	1605	27275	1002	20589	44997	126	2096	126	2096	257	14	228	40	
8	1006	13276	25	25	476	791	4397	2084	85970	1028	20928	5129	145	2503	145	2503	12	14	228	40	
9	824	7867	20	20	577	813	5933	2084	85970	1028	20928	5129	145	2503	145	2503	12	14	228	40	
10	695	6721	27	27	600	695	4971	2084	85970	1028	20928	5129	145	2503	145	2503	12	14	228	40	
11	443	4671	25	25	425	453	3657	1982	1069	1866	45810	126	2180	126	2180	12	14	228	40		
12	725	8576	14	14	165	491	4080	1795	1069	1866	45810	126	2180	126	2180	12	14	228	40		
1	656	8196	13	13	222	578	3935	1102	1069	1866	45810	126	2180	126	2180	12	14	228	40		
2	485	8877	4	4	35	576	4085	1290	1069	1866	45810	126	2180	126	2180	12	14	228	40		
3	838	10448	0	0	0	714	4581	1775	1069	1866	45810	126	2180	126	2180	12	14	228	40		
平均	664	8377	0	0	0	473	4987	1779	1069	1866	45810	126	2180	126	2180	12	14	228	40		

港務正本報 沿岸労働者(10)

昭和44年度日雇港湾労働者職業紹介状況 (Xは港務労務職業年所紹介)



注) 上記人数は船内 沿岸労働者を含む。

注) 「センリ」統計では、Xは港務以外に神和私雇人の紹介も含むので上記人数に差がある。

産業別・職種別求人(就労)状況

(運輸)

小44年度

月	職 種 人 員	運	運	上	積	肩	荷	雑	計
		転 手 (大型)	転 手 (普通)	乗 ・ 助 手	込 入 出 庫	持 不 配 替	造	役	
44/4	人員 (%)	228 4.20	299 5.51	95 1.75	2580 47.58	1738 32.05	20 0.37	463 8.54	5423 100
5	人員 (%)	269 5.18	233 4.48	64 1.23	2763 53.17	1635 31.46		233 4.48	5197 100
6	人員 (%)	183 3.54	210 4.07	69 1.34	3373 65.34	907 17.57	20 0.39	400 7.75	5162 100
7	人員 (%)	163 3.22	280 5.54	238 4.71	3327 65.86	540 10.69	5 0.10	499 9.88	5052 100
8	人員 (%)	254 3.97	312 4.88	125 1.95	4502 90.35	495 7.74	46 0.72	665 10.39	6399 100
9	人員 (%)	215 3.62	302 5.09	136 2.29	4338 78.12	370 6.24	22 0.37	550 9.27	5933 100
10	人員 (%)	199 4.09	270 5.54	269 5.52	3256 66.84	275 5.65	41 0.84	561 11.52	4870 100
11	人員 (%)	115 3.15	247 6.76	109 2.98	2925 79.98	158 4.32	33 0.90	70 1.91	3657 100
12	人員 (%)	291 7.13	263 6.45	244 5.98	2339 57.33	471 11.54		472 11.57	4080 100
45/1	人員 (%)	299 7.60	210 5.34	253 6.43	1961 49.81	543 13.80	28 0.72	641 16.20	3935 100
2	人員 (%)	300 7.39	165 4.07	173 4.26	2364 58.30	783 19.30	15 0.39	255 6.29	4055 100
3	人員 (%)	172 2.93	181 3.09	319 5.46	3885 66.40	1006 17.20		288 4.92	5851 100
計	人員 (%)	2688 4.50	2972 4.90	2094 3.50	37613 63.90	8921 14.90	220 0.30	5097 8.61	59615 100
平均	人員	224	247	174	3134	743	19	424	4967

産業別・職種別求人(就労)状況

(建設業)

小44年度

月	職 種 人 員	工	工	大	大	无	无	屋	七	七	塔	塔	鉄	其	計
		種 片	役 付	工	工 手 元	官	官 手 元	根 手 元	手 元	塔 か じ や	塔 か じ や 手 元	筋 筋 骨	の 他		
44/4	人員 (%)	32,084 95.82	33 0.07	47 0.13	18 0.05	12 0.03	421 1.18	325 0.91	36 0.10	3 0.01			98 0.28	498 1.40	35,575 100
5	人員 (%)	29,599 95.59	22 0.07	2 0.01	25 0.08	16 0.05	355 1.15	341 1.10	15 0.05		3 0.01		338 1.09	250 0.80	30,966 100
6	人員 (%)	28,117 95.94	26 0.09		19 0.06	2 0.01	292 1.00	429 1.46	7 0.02	2 0.01			173 0.59	240 0.82	29,307 100
7	人員 (%)	26,630 95.88	25 0.09	2 0.01	6 0.02	21 0.07	360 1.20	285 1.03	23 0.08	6 0.02			102 0.37	315 1.13	27,775 100
8	人員 (%)	35,445 95.02	61 0.16	10 0.02	8 0.02	13 0.03	350 0.94	794 2.13	21 0.06	9 0.02			255 0.68	337 0.92	37,303 100
9	人員 (%)	34,413 95.74	74 0.21	8 0.02	7 0.02		305 0.84	790 2.20	6 0.02	2 0.01			140 0.39	125 0.36	35,870 100
10	人員 (%)	35,384 96.23	76 0.21		9 0.02	9 0.02	300 0.82	396 1.08	6 0.02	12 0.03			414 1.13	163 0.46	36,772 100
11	人員 (%)	37,259 99.97	67 0.18	2 0.01	20 0.05		245 0.65	96 0.25	13 0.03	4 0.01			168 0.44	157 0.41	38,031 100
12	人員 (%)	32,489 96.81	96 0.28		18 0.05	1 0.01	245 0.73	271 0.81	2 0.01	19 0.06			180 0.54	237 0.71	33,558 100
45/1	人員 (%)	19,729 97.68	28 0.14	2 0.01	4 0.02		235 1.18	76 0.38		31 0.16			43 0.22	52 0.24	20,200 100
2	人員 (%)	20,586 94.90	58 0.27	13 0.06	11 0.06	3 0.01	170 0.78	53 0.24	28 0.13	26 0.12			26 0.12	716 3.31	21,690 100
3	人員 (%)	29,189 97.26	62 0.21		29 0.10		357 1.19	143 0.49	4 0.01	9 0.03	20 0.07		22 0.09	174 0.57	30,010 100
計	人員 (%)	362,929 96.25	628 0.17	86 0.02	174 0.05	77 0.02	3635 0.98	3999 1.06	161 0.46	123 0.03	23 —		1960 0.51	3264 0.97	377,057 100
平均	人員	30,243	52	7	14	4	302	333	13	10	—		163	272	31,421

産業別・職種別求人(就労)状況
(製造) (小4年度)

月	職種 人員 (%)	造船会社						一般会社						その他	計	
		工	手元	塔吊 手元	玉 掛	掃 除	機 修 等 他	工 員 手 元	機 修 等 他	玉 掛	タ ン ク 研 削	ス タ ン プ	レ ジ ン ガ ラ 出			製 成
4	人員 (%)	114 0.67	47 0.28		55 0.32	156 0.92	542 3.18	12,162 71.64	37 0.22	802 4.71	55 0.32	458 2.89	587 3.55	1647 9.67	263 1.53	17,025 100
5	人員 (%)	180 1.13	158 1.00		58 0.36	243 1.52	598 3.78	11,317 70.97	73 0.46	816 5.08	49 0.31	470 2.96	500 3.13	938 5.88	546 3.42	15,950 100
6	人員 (%)	178 1.07	190 1.15		20 0.12	397 2.40	921 5.56	11,217 67.72	87 0.53	1193 7.20	73 0.46	409 2.47	486 2.93	1080 6.52	313 1.89	16,564 100
7	人員 (%)	75 0.36	60 0.29		24 0.12	311 1.51	653 3.17	15,421 74.90	75 0.36	1285 6.24	43 0.21	463 2.25	713 3.47	822 4.28	584 2.84	20,589 100
8	人員 (%)	143 0.69	98 0.47		103 0.50	431 2.08	808 3.90	15,078 72.71	37 0.18	1619 7.81	5 0.02	470 2.27	377 1.82	1002 4.83	565 2.72	20,736 100
9	人員 (%)	165 0.72	139 0.61		260 1.14	468 2.25	828 3.62	16,683 73.02	91 0.40	1588 6.95		574 2.51	612 2.68	925 4.25	514 2.25	22,827 100
10	人員 (%)	222 1.01	246 1.11		321 1.66	1253 5.88	921 4.22	16,018 72.54	258 1.17	1768 7.96		402 1.82	657 2.98	12 0.05		22,079 100
11	人員 (%)	134 0.72	106 0.57		265 1.62	543 2.72	1030 5.33	13,471 72.32	54 0.29	980 5.26		525 2.87	506 2.72	865 4.59	147 0.79	18,626 100
12	人員 (%)	219 1.19	91 0.50		358 1.85	285 1.55	768 4.07	13,349 72.72	115 0.63	1213 6.61		417 2.28	425 2.64	910 4.96	167 0.91	18,357 100
1	人員 (%)	114 0.75	25 0.17	127 0.84	287 1.89	310 2.03	343 2.25	10,703 70.12	87 0.57	1368 8.90	24 0.23	117 0.77	377 2.47	625 4.10	767 4.72	15,274 100
2	人員 (%)	184 1.00	21 0.12	112 0.58	403 2.17	555 2.78	493 2.63	13,112 71.20	18 0.09	1245 6.76	51 0.28	187 1.02	471 2.56	668 3.63	876 4.76	18,416 100
3	人員 (%)	173 0.91	47 0.25	128 0.67	414 2.16	729 3.80	555 2.90	13,375 69.91	6 -	1464 7.64	104 0.54	175 0.92	461 2.41	500 2.61	1010 5.28	19,161 100
計	人員 (%)	1901 0.84	1228 0.52	367 0.17	2568 1.14	5711 2.53	8460 3.74	161,928 71.77	938 0.42	15,321 6.79	414 0.19	4679 2.08	6,232 2.77	10,025 4.46	5760 2.56	225,624 100
平均	人員	158	102	(31)	213	475	703	13,494	78	1277	(24)	390	519	827	480	18,202



産業別・職種別賃金状況
(運輸) (小4年度)

月	職種 賃金	運転手 (大型)	運転手 (普通)	上乗助手	積卸 入出庫	肩 (採配)	荷 造	種 役
4	最高賃金	3,100	2,800	3,000	2,200	2,500	1,800	1,900
	最低 "	2,400	2,000	1,400	1,600	2,000	1,800	1,600
	平均 "	2,700	2,000	1,700	1,700	2,000	1,800	1,800
5	最高賃金	3,000	2,500	2,000	2,300	2,500		2,100
	最低 "	2,400	2,000	1,500	1,700	1,700		1,700
	平均 "	2,700	2,000	1,700	1,700	2,000		1,800
6	最高賃金	3,500	2,500	2,000	2,300	2,200	1,800	2,000
	最低 "	2,200	2,000	1,800	1,700	2,000	1,800	1,700
	平均 "	2,700	2,000	2,000	1,900	2,200	1,800	1,800
7	最高賃金	3,100	3,000	2,200	2,400	2,300	1,500	2,000
	最低 "	2,200	1,900	1,600	1,700	2,000	1,500	1,700
	平均 "	2,700	2,200	1,600	1,900	2,100	1,500	1,800
8	最高賃金	3,000	2,900	2,200	2,500	2,200	1,500	2,200
	最低 "	2,400	1,900	1,700	1,800	1,700	1,500	1,800
	平均 "	2,700	2,100	1,700	2,000	2,200	1,500	2,000
9	最高賃金	3,400	2,700	2,200	2,200	2,300	1,800	2,000
	最低賃金	2,500	1,900	1,600	1,800	2,000	1,800	1,900
	平均 "	2,900	2,200	1,800	2,000	2,300	1,800	2,000
10	最高賃金	3,500	2,900	2,000	2,500	2,200	1,800	2,000
	最低 "	2,500	1,900	1,600	1,800	1,800	1,800	1,800
	平均 "	2,900	2,400	1,900	2,000	2,000	1,800	2,000
11	最高賃金	3,100	3,900	2,100	2,400	2,100	1,800	2,100
	最低 "	2,500	2,000	1,800	1,900	1,800	1,800	1,900
	平均 "	2,900	2,400	1,900	2,000	2,000	1,800	1,900
12	最高賃金	3,500	3,000	2,400	3,000	2,500		2,300
	最低 "	2,700	2,000	1,800	1,900	2,100		1,900
	平均 "	2,900	2,400	1,800	1,900	2,300		2,100
1	最高賃金	3,000	2,500	2,000	2,500	2,500		2,500
	最低 "	2,000	1,800	1,400	1,500	1,700		1,600
	平均 "	2,300	2,000	1,500	1,700	2,000		1,800
2	最高賃金	3,000	2,700	1,900	2,500	2,500		2,000
	最低賃金	2,200	1,800	1,500	1,600	1,800		1,700
	平均 "	2,200	2,000	1,700	1,700	1,900		1,800
3	最高賃金	3,000	2,500	1,900	2,700	2,000		1,800
	最低 "	2,000	1,800	1,700	1,700	1,900		1,700
	平均 "	2,700	2,000	1,700	1,900	1,900		1,700

産業別・職種別賃金状況

(建設業)

(54年度)

月	職 種 賃 金	建設業										鉄 筋 鉄 骨	そ の 他
		土 工 積 込 片 付	大 工	大 工 手 元	瓦 官	瓦 官 手 元	屋 根 手 元	下 手 元	下 手 元	活 荷 コ シ ヤ	活 荷 コ シ ヤ 手 元		
4	最高賃金	2,800	3,000	1,800	2,000	2,500	2,300	2,000	2,000	2,500		2,500	3,100
	最低 "	1,500	3,000	1,800	2,800	2,300	2,000	2,300	1,900	2,500		2,000	1,700
	平均 "	1,800	3,000	1,800	2,000	2,300	2,300	2,700	1,900	2,500		2,000	1,800
5	最高賃金	2,200	3,500	2,100	2,500	2,300	2,500	4,000	2,700		2,200	2,000	3,000
	最低 "	1,800	3,000	2,600	2,600	2,000	2,500	2,700	2,000		2,200	1,900	1,800
	平均 "	1,800	2,000	2,600	3,000	2,000	2,300	3,000	2,500		2,200	2,000	1,800
6	最高賃金	3,000	3,000		3,000	2,000	2,500	4,000	2,000	2,300		2,800	1,800
	最低 "	1,700	2,500		2,800	2,000	2,500	2,900	2,000	2,300		1,900	1,800
	平均 "	1,800	2,000		3,000	2,000	2,500	3,500	2,000	2,300		2,000	1,800
7	最高賃金	2,900	2,500	2,000	2,200	2,500	2,500	4,400	2,100	2,500		3,000	2,500
	最低 "	1,700	2,600	2,000	2,400	2,300	2,200	2,500	2,000	2,500		1,900	1,800
	平均 "	1,800	2,200	2,000	2,800	2,300	2,500	3,000	2,100	2,500		2,500	1,800
8	最高賃金	2,500	2,400	2,000	2,500	2,500	2,500	4,000	2,400	2,500		2,400	2,000
	最低 "	1,700	2,700	2,000	3,000	2,500	2,500	2,900	2,400	2,500		2,000	2,000
	平均 "	1,700	2,000	2,000	3,000	2,500	2,500	3,400	2,400	2,500		2,500	2,000
9	最高賃金	2,900	2,500	2,500	2,500		2,500	4,400	2,600	2,800		2,500	2,500
	最低 "	1,800	2,500	2,500	2,500		2,300	2,900	2,600	2,800		2,500	2,500
	平均 "	1,900	3,000	2,500	2,500		2,300	3,400	2,600	2,800		2,500	2,500
10	最高賃金	2,000	2,500		2,000	2,500	2,500	5,000	2,500	2,500		2,000	1,800
	最低 "	1,700	2,000		2,000	2,500	2,000	2,500	2,500	2,500		2,400	2,300
	平均 "	1,900	2,400		2,000	2,500	2,300	2,500	2,500	2,500		2,400	2,300
11	最高賃金	2,300	4,000	2,500	2,500		2,500	4,000	2,400	2,500		2,000	3,500
	最低 "	1,700	2,900	2,500	3,000		2,500	2,700	2,300	2,500		2,000	2,000
	平均 "	1,900	3,000	2,500	3,000		2,500	3,000	2,400	2,500		2,000	2,200
12	最高賃金	2,300	6,000		2,500	2,500	2,600	3,500	2,400	2,500		4,500	2,800
	最低 "	1,700	3,000		2,700	2,500	2,300	2,800	2,300	2,500		2,300	1,800
	平均 "	1,900	3,500		2,000	2,500	2,600	3,000	2,400	2,500		2,300	2,000
1	最高賃金	2,000	2,500	2,500	2,500		2,600	5,100		2,500		2,000	2,800
	最低 "	1,800	3,000	2,500	2,400		2,600	2,800		2,500		1,900	1,900
	平均 "	1,950	2,250	2,500	2,450		2,600	3,500		2,600		2,300	2,400
2	最高賃金	2,000	2,500	2,500			2,600	4,000	2,500	3,000		2,000	2,800
	最低 "	1,750	2,500	2,000			2,600	3,200	2,500	3,000		2,300	2,300
	平均 "	1,966	2,225	2,250			2,600	3,475	2,500	3,000		2,650	2,550
3	最高賃金	2,200	2,800		2,500		2,600	5,100			2,800	3,000	3,000
	最低 "	1,800	3,000		3,000		2,600	2,000			2,800	2,500	3,000
	平均 "	1,995	2,299		3,371		2,600	4,375			2,800	2,799	3,100

産業別・職種別賃金状況

(製造業)

(54年度)

月	職 種 賃 金	造船会社					一般会社					そ の 他	そ の 他			
		下 手 元	下 手 元	活 荷 コ シ ヤ	玉 掛	掃 保	雑 仕 他	活 荷 コ シ ヤ	玉 掛	カ ン ト リ 掛 科 目	カ ン ト リ 掛 科 目			ス タ ン プ	シ ン ク ラ フ タ キ	製 鉄
4	最高賃金	2,700	1,900		2,000	2,000	1,800	2,000	2,000	1,800	2,000	2,000	2,300	2,000	2,200	2,000
	最低 "	2,400	1,900		1,900	1,600	1,800	2,500	1,600	1,800	1,700	1,600	1,500	1,800	1,800	1,700
	平均 "	2,400	1,900		1,900	2,000	1,800	2,500	1,700	1,800	1,800	1,700	1,600	1,600	1,900	1,700
5	最高賃金	2,700	2,200		2,000	2,000	1,700	2,500	1,800	1,700	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,300
	最低 "	2,400	2,000		2,000	1,800	1,700	2,000	1,700	1,600	1,800	1,600	1,800	1,800	1,800	1,600
	平均 "	2,700	2,200		2,000	2,000	1,700	2,500	1,700	1,700	2,000	2,000	1,700	1,800	1,800	1,800
6	最高賃金	3,500	2,400		1,800	2,000	2,000	3,000	1,900	1,700	2,200	1,900	2,000	2,000	2,000	2,000
	最低 "	2,500	1,900		1,500	1,700	1,800	2,000	1,700	1,700	1,800	1,500	1,400	1,700	1,800	1,800
	平均 "	2,800	2,200		1,800	1,800	1,800	2,500	1,800	1,700	2,100	1,500	1,800	1,800	1,800	1,800
7	最高賃金	2,600	2,100		1,900	2,000	2,100	2,400	1,800	1,700	2,300	2,100	2,500	2,200	2,200	2,200
	最低 "	2,600	2,100		1,900	1,800	1,800	2,400	1,800	1,700	2,200	1,500	1,500	1,600	1,600	1,600
	平均 "	2,600	2,100		1,900	1,800	2,000	2,400	1,800	1,700	2,200	1,700	1,700	1,800	1,800	2,000
8	最高賃金	2,100	2,400		2,000	2,000	2,200	2,500	2,200	1,700	2,600	1,800	2,200	2,000	2,500	
	最低 "	2,700	2,100		1,900	1,800	1,900	2,500	1,600	1,700	2,200	1,600	1,500	1,700	1,800	
	平均 "	2,000	2,200		1,900	2,000	2,200	2,500	2,000	1,700	2,500	1,600	1,700	1,700	2,000	
9	最高賃金	2,000	2,300		2,200	2,000	2,300	3,000	2,200		2,700	2,000	2,300	1,800	2,000	
	最低 "	2,700	2,100		1,900	1,800	1,900	2,000	1,600		2,200	1,800	1,500	1,800	1,800	
	平均 "	2,900	2,300		2,200	2,000	2,300	2,500	2,000		2,200	1,800	1,700	1,800	1,800	
10	最高賃金	2,200	2,400		2,200	2,100	2,100	2,500	2,200		2,100	1,700	2,100	2,400		
	最低 "	2,800	2,000		2,000	1,800	2,000	2,000	1,900		2,000	1,700	1,600	1,800		
	平均 "	2,800	2,200		2,100	2,000	2,100	2,000	2,100		2,100	1,700	1,800	1,800		
11	最高賃金	2,100	2,300		2,200	2,100	2,300	2,500	2,100		2,600	2,300	2,200	2,200	2,100	
	最低 "	2,800	2,200		2,000	1,800	1,800	1,900	1,800		2,100	1,700	1,700	1,800	2,000	
	平均 "	2,800	2,300		2,000	1,900	2,100	2,200	1,700		2,200	1,800	1,800	1,800	2,000	
12	最高賃金	2,100	2,400		2,400	2,000	2,300	2,500	2,300		2,000	1,800	2,200	2,800	2,100	
	最低 "	2,800	2,100		2,000	1,800	1,800	2,000	1,900		2,000	1,800	1,700	2,000	1,900	
	平均 "	2,000	2,300		2,300	1,900	2,300	2,000	2,200		2,000	1,800	1,800	2,000	2,000	
1	最高賃金	2,200	2,500	2,200	2,500	2,200	2,400	4,000	2,500	2,300	2,200	2,600	2,500	2,200		
	最低 "	2,800	2,400	1,800	2,300	1,600	1,800	2,000	1,900	1,800	2,000	2,300	1,450	2,100		
	平均 "	2,070	2,450	2,000	2,320	1,950	2,200	2,280	2,170	1,830	2,100	2,320	1,820	2,150		
2	最高賃金	2,200	2,300	2,500	2,220	2,300	2,500	3,000	2,400	2,500	2,500	2,310	2,600	2,300	2,400	
	最低 "	2,000	2,100	2,300	1,800	1,700	1,800	2,300	1,800	1,800	2,000	1,730	1,450	1,800	1,800	
	平均 "	2,150	2,200	2,400	2,300	2,160	2,330	2,700	2,180	1,780	2,250	2,260	1,880	2,210	1,850	
3	最高賃金	2,200	2,600	2,500	2,500	2,300	2,650	3,000	2,500	2,300	2,200	2,310	2,500	2,300	1,940	
	最低 "	2,000	2,200	2,300	1,800	1,600	1,800	2,200	1,600	1,800	2,000	2,000	1,550	2,000	1,700	
	平均 "	2,040	2,500	2,330	2,330	2,010	2,320	2,500	2,080	1,800	2,100	2,100	2,200	1,970	1,730	

Ⅱ 職業・事故・生活各種の相談

こんなに朝早く目覚める街はないであろう。朝5時すぎ、冬には頭上に星をいだし、凍りついた大気をついて、地下足袋や長靴に作業服で身を固めた労働者がドヤをあとして、新今宮駅前国道尼平線路上の寄場一青空市場に黙々と急ぎ足に歩いてゆく。この巨大な日雇労働者の街はこうして一日が始まる。ゆっくりと寝坊しておれば、仕事にあふれ、昨日の住いが今日は自分のものでなくなるきびしさの中で。

職安法、労働基準法が、労災保険、失業保険、健康保険法が、そして生活保護法などが、労働者の、国民の生活を守ってゆくことになっている。だが、日本の底辺であり、社会の矛盾が集中的に現われているというこの地域では、それがそうではなくなってくる。

朝目覚めて仕事につくときから、仕事場で、そして生活の場で、死ぬまで法の保護からもれようとしている。

だが、釜ヶ崎事件後、やがて10年を迎えようとして、地域日雇労働者の、労働者として、住民としての権利の主張が少しずつではあるが定着を見せてきている。その中で、微力ながらセンターが果たした役割も見のがすことは出来ないであろう。

この一年間、労働者がそれぞれの生活の中で、ぶつかってきたさまざまな問題をかかえてきての相談が、別表の数である。

以下、項目毎に、その実態をのべてみよう。

1 職業相談

職業相談の件数は別表のとおりであるが、この中の求職登録は、職安の登録と違って登録することによって仕事を紹介してもらえるような実質は伴わない。別項にのべてあるような目的で、単にセンターに登録をしてゆく労働者の数をあらわしたものにすぎない。この登録を除いた職業相談は、その多くが記録されないことが多いが、窓口の仕事を探ってくる相談が主な内容となる。

訪れてくる労働者の求職の仕方は3つに分けられる。ひとつは、ここに来れば仕事があるということで地方から出てきた人たちが訪れてくる場合である。この場合、私たちは早朝の就労あせんの状況の説明をする。第2は、飯場の仕事を求めてくる労働者である。飯場就労を希望する場合ふたつのタイプがあって、日頃現金仕事に行っているが、雨などで仕事が少くあふれが続く時に、やむをえず飯場でも入ろうかという場合と、その日その日の現金仕事につくことを嫌

がる(日ゼニは金が残らないともいう)いわゆる飯場まわりの労働者が希望する場合とである。こういった人たちが、「よい飯場はないか」とたずねてくるわけだが、この「よい飯場」と求められると、私たちはしばしば絶句する。労働者がいう、よい飯場の条件、賃金がよくて、追いまわしがなく、食事もよく、金も貸してくれ、雰囲気も良い、などをみだし、自信をもって推せん出来る飯場は皆無に近いからである。この際によく、タコ部屋の経験を聞かせてくれ、トンコ(逃げて帰ること)が如何に困難であったか、その内容を説明してくれる。1) 出口はひとつしかなく見張番がおり、WC、風呂には格子をはって出られないようにしてある。逃げたのが見つければ木刀でなくられる。2) 現金は1銭もかしてくれない。3) 古い人は買物にも出かけられるが、新しい人はあてがわれたまらずいし飯か喰べられない。4) 勘定日が来ても仲々金を払ってくれない。文句をいえば暴力をふるわれる。などである。

秋田から出かせぎにきていた労働者が、ある飯場で、条件が違うからやめさせてほしいと、申出たら、賃金を払ってくれないばかりか、背広などを入れたポストバックも返してくれなかったのも、バトカーで行ってとり返してきた、という話もある。

こうした飯場希望者には、センターに求人台帳を提出した登録飯場の求人掲示から本人に自由に選んでもらい、希望する飯場に電話で求職者が居ることを伝える。求人者が迎えにきてくれるのを待つ間に、当の求職者が姿を消して、職員を慌てさせる場合もあるし、飯場に行く交通費がないというので、交通費を貸して行ってもらうこともある。時にはこの貸した交通費が酒代にばけてしまい、飯場にたどりつかない場合もある。この飯場の求職者は、現金仕事が増える冬場を迎える時や、雨が降り続く時期にふえてくる。今晚のドヤ銭もないというせっぱつまった状態におかれる時、たとえ嫌な半ダコの飯場であっても、食事と、住居と、仕事が保障されるとあれば求めざるをえないのであろう。

第3は、現金仕事や飯場まわりの不安定性から脱却したいと、会社関係など常用の就職先を求めてくる相談である。労働力不足が叫ばれ求人難の昨今ではあるが、こと常用の求人となると、センターへの求人申込は少くしかもその多くが中小零細企業で汚れたりする仕事である。その限られた中から本人の希望にあうところを紹介してゆく。もっとも、本人に技術があったり、保証人がえられる時には職安に問合せをしたりして、そちらにいくようにすすめる。

大卒で、2級建築士の免許をもった人が、建築事務

所に勤めたいといってきたり、センパン工10年の経験工が、仕事着を貸してくれ、住み込みで働けるところを世話してくれなどとすることがある。

今年の求職相談で目立ったのは、やはり万博の工事に関連した求職者のいたことである。大阪にいけば万博でよい仕事がある、ということで地方から出てきた人たちが時々顔を見せていたし、東京で家族もある腕ききの職人が、突貫工事で条件がよいと聞いてきたので万博の仕事にいきたいと、訪ねてき、万博職安に紹介した例もある。

その他、永いこと直行で働いていた事業所から突然やめてくれといわれた、という相談や、就労先の苦情を聞かされたりすることも多い。

2 労働条件違反に関する相談

雇用契約を結ぶ場合、労働条件を明示しなければならぬことは、労基法に示されているとおりでであるが、これにまつわる事故相談も仲々減少しない。就労したところ、作業現場や作業内容、労働時間、賃金などが約束と違ったとか、10日契約の約束が15日契約だった、夜勤仕事があるというので行ったのに昼勤しかなかった、などといってくるものである。

センターに求人条件を届出ている場合には、求人受付票にもとづいて交渉が円滑に出来るが、無届けで口約束で連れていかれた場合には、ともすると、言っていない、聞いていないの水かけ論になって解決を困難にする場合が多い。このことは中間に手配師が介入している場合一層顕著になってあらわれてくる。手配をする方は、よい条件を提示して、出来るならだましても連れていこうとする。求人をする事業所や飯場の直属の手配師(求人連絡員)には、比較的問題は少ないが、労基法、職安法で禁止されている、いわゆる売込みの手配師になると、その無責任ぶりは目にも余りがある。このことが一方では賃金不払の事故をも生み出し、手配師をなくせという声は労働者の強い声となってくるわけである。

具体的例を幾つかあげてみよう。現金仕事の場合は、作業内容の相違——本船肥料梱包積みの仕事で行ったが、銑鉄スクラップの仕事だった。「町ヤ仕事が行ってみれば道路工事だった。」や労働時間の相違——「こまわりの仕事でそうでなかった。」「残業をしたのに残業手当をつけてくれない。」「業業して1Hが1分とはどういうことか、労基法どおり支払え。」——などがある。中には、明日も来てくれというので、所定の場所で待合せていたが、すっぱかされて一日を俸にふった。と訴えられ、あふれ賃、休業手当の請求をした例もある。

住込飯場の場合は、作業内容の相違——雑役が堀方だった一などもあるが、賃金の喰い違いが多いようである。「2,100円の約束で働いたが1,900円で計算された。」「働きが悪いと1,600円しかくれなかった。」「喰いぬぎで行ったのに飯代を差引かれた。」「飯代350円が400円になってた。」などがある。

3 賃金不払に関する相談

事故相談の中で、賃金不払に関する相談ほど、精神的緊張と労力を強いるものはないであろう。未解決のケースはしばしば職員をノイローゼにおとし入れ、胃腸障害をもたらす。このことは、この地域の労働者がいかに劣悪な労働条件のもとで働かされているかを、しめすものともいえる。

この1年間に記録にとどめた賃金不払のケースは、738件にも及び、その不払賃金の総額は、判明したのだけで667万余円にも達している。センターにも訪れず、泣きね入りをしていった労働者の数は恐らくこの数倍にも及ぶことと思われる。

賃金不払にいたるいきさつは、飯場の場合は、おおむね次のような場合である。1) 契約の途中で帰ったために支払ってくれなかったもの。2) 黙って帰った(トンコした)ために、支払ってくれなかったもの。3) 条件の違いのため、未払になったもの。4) 下請のオヤジが金をもち逃げして行方不明になったもの。5) 暴力飯場で、本人から逃げ出すような状況をつくり、賃金をかすめとるもの。などがあげられる。

現金仕事では、条件違いや、身体の具合が悪くて半日で帰った場合の賃金請求や、雨天や業者の都合による作業中止の場合の休業手当の請求などが多い。後者の場合は集団的なものとなることが多くて、時には16名が一度に相談にきたこともある。

これら賃金不払の相談処理状況は次のような状態である。

賃金不払相談受理件数別にみると、6月7月8月と夏場に比較的多い。この原因には、梅雨時あふれ続けの労働者にとっては、飯場に残した賃金が頼みの綱となってくることや、梅雨明けに仕事がふえ求人があふれる中で、手配(特に飯場の)が困難をまし、無理な勧誘や、足どめ策、条件違反などふえてくることなどが考えられる。

事故を起した事業所(飯場)は、センターに無届け(未登録)の場合がその大半を占めている。そして、その殆んどが、三段階も四段階も下請飯場であり、実態としては人夫供給業的色彩が濃いものといえる。ともすると労働者は自分が働いた飯場名すら覚えてないこともあり、私たちは現場や元請など足がかり手が

かりになるものを何とか聞き出し、そこからもとをたぐってゆく場合もある。

しかし、結局は所在地も分らず、未解決、泣きねいりになることが多い。

これら事業所飯場の所在地別分布は別表のとおりであり、他府県が4割近くにもなり、この地域の労働者の行動範囲の広さに驚く次第である。

就労形態の内容別からみると、別表のように住込飯場に就労しての事故が、現金仕事よりも大巾に上回っている。しかも、飯場の場合、ここ1・2年の傾向としては契約日数が短期間になってきたことである。以前は1ヶ月契約が中心であったが、最近では10日契約がふえ、時には5日契約もみられるようになってきている。このことは、労働者の方からは拘束される期間の短いことを望む傾向が強いことから、手配しやすくするために短くなってきたことを示す。しかし、一方では求人する側としては1日でも長く働いて欲しい要求があるので、ともすると契約以上に働かせたりして、事故発生の原因を作っているともいえる。

契約の途中で退職した場合が210件、契約終了後も引き続いて就労を余儀なくされた場合が83件もあることは、これらの事情を物語っている。

なお、やめる時に、退職を申出ずに、黙ってトンコしてきたのが151件もあり、解決を困難にしている一方、この中には命からがら逃げ出してきたケースもあって、劣悪な労働条件の中で就労していた実態を明らかにしている。

退職してから賃金不払の相談にくるまでの日数を期間別にみると、別表のとおりその半数が、やめた当日や翌日など、1週間以内にもちこんできている。このことは、賃金の支払を受けずに退めた場合、早速にもその晩のドヤ銭、食事代にもこと欠く状態におかれるので、待たなしてかけ込んでくることの多いことを示している。交通費も支給されずに、長い道のりを歩いて帰ってきた例や、京都の血液銀行で血を抜いて旅費を作ってきたという話もある。

次に、特徴的なことはやめてから1ヶ月以上も経過してから相談にくる場合がかなりなることである。これは、何度も自分で飯場に行って賃金の支払いを請求したがだめであったり、雨などで仕事にあふれ続けの時、まだ受取ってない飯場の賃金を思い出ししたりしてのこのようである。中には、だまされたことへの怒りが、時日を経過しても消えずに、訴えてくるというのものもある。3ヶ月後、半年後、時には2年前のをもち出してくる場合もある。

相談を受理してから解決までの日数は、表にみるよ

うに6割近くが1週間以内に何らかの決着をみている。しかし、1ヶ月以上というのが117件(19%)もあることは、相手が相手であるだけにこの問題の解決がいかに困難なものであるかを物語っている。解決までの交渉回数も平均4~5回である。長いものになると数ヶ月、交渉も電話や手紙で元請や労基も含めて十数回に及ぶものもある。

これらの賃金不払事故がどのような形で解決されたかをみてみよう。

交渉の結果、センターに送金してきたり、直接持参してくるによって解決したのは227件、その賃金総額は1,504,065円になる。これに、本人がとりに行って支払をうけてきたと報告のあったもの64件(693,800)、払うからきてくれと返事のあったもの153件(1,533,676円)を加えると、全部で499件(4,313,521円)になって、不払賃金の約65%が労働者の手にとり戻されたことになる。もっとも、払うからきてくれと返事があっても、労働者の中には、とりに行って暴力でもふるわれたら、と二の足をふむものがあるので、すべてがうまくいったとはいえないようである。

事業所との交渉が永びいたり、払うといいながら仲々払おうとしなかったりすると、労働基準監督の方に申告を行ってゆく。本人に労基にいかせたり、センターより労基に申告した件数は74件である。

交渉の結果、諸式を差引くと赤字で支払い分なし、というのが16件もあった。その多くは酒好きの労働者で、諸式の額が大きくなったためである。

未解決のまま中止にあったものは133件と、かなりの数になるが、労働者が自から働いた飯場名も、現場も元請も覚えていないために、交渉の糸口がつかめなかったものや、オヤジのもち逃げでその行方が分らず立消えになったものなどがその中に含まれている。

これら事故飯場もその元請には大手業者がずらりとその顔をならべており、それだけに働く現場も大きいところが多く、万博工事はいわずもがな、マーチャングイズマートビルなどの高層ビル、山陽新幹線、東名高速、あるいは臨海工業地帯などの建設現場に、そして日立造船、住友金属、富士鉄、川崎製鉄、神戸製鋼など製造業の下請工などとしても、入っているようである。事故が起きて、オヤ、こんなところにもこの地域の労働者が働きに行っているのかと、その果している役割の大きさにあらためて痛感させられる。

4 労働災害に関する相談

別項で詳述。

5 暴力に関する相談

暴力をふるわれたと訴えてくるのも相変わらずあとを

断たない。

就労先の飯場での暴力がやはり多く、町ヤ仕事で入飯したところ、ヒューム管入れの仕事と条件が違ったのでトンコしようとしたところオヤジに見つかり、ノコギリで足・手・顔面を切られた、などとあわやバラバラ事件と、思わせるような例や、人夫出し飯場で現場をあちこちふりまわされるので、休ませてくれといたら、生意気だと飯場の若い衆5・6人に暴力をうけ休業5日のケガをさせられた例など、飯場から暴力を迫放してくれという訴えと共に、休業補償・見舞金をよこせ、という要求を伴ったものもある。

飯場からトンコしてきたのを、西成で手配師にみつきり暴力をうけたという例も、寄り場での暴力も含めて2・3あったようである。

その他、拘置所に入っている時、柔道部で相当痛めつけられ、足腰が痛くて仕事につけられないとか、深酔いをして、朝4時頃路上でねていたらいきなりなぐられて1週間のケガをさせられ、たくわえと青カンでやっしのいでいたがいきづまったと相談してきたケース、さらには新聞などで話題になった、精神病院内での暴力を訴えた例などがある。

6 家庭身上・生活相談

働き盛りの単身労働者を中心にした巨大な労働者の街、といってもその生活基盤は非常に不安定である。住居は簡易宿泊所というドヤ(この頃はホテルという名が多い)で、その日のかせぎいかんでは転々とせざるをえない。それに飯場との往復をしている人たちも多い。こういって、センターは労働者の連絡基地としてもかなり役立っている。

センター気付で故郷へ手紙を出し、お互いの消息を伝え、病気で困った時には親に無理をいって金を送ってもらおう。労災の補償手続も、賃金不払の申告もセンター気付で行なう。この一年間に相談の中でとり扱った来信の総数は1,108通にもおよぶ。労基(327通)、事業所(193通)・病院(30通)からの来信でその半数を占めるのは、労災相談の激増と、賃金不払の相談とによるものである。電信替為(61通)は、生活に行詰って親兄弟に泣きつく場合と、賃金不払で今日の金にも困ると事業所に督促した場合とで、待ち切れずに郵便局に、何度も問合せをすることもある。電報には、チチキトク、ハハシスなど家庭の不幸を知らせ、すぐ帰ってこいと、いってくるものが多い。

親や妻兄弟など個人からの手紙462通を発信地別に分類してみると、近畿地方(25.5%)、九州地方(22.4%)が多く、遠く南は沖縄、北は北海道からの来信があり、全国38都道府県の広きにわたっている。

たずね人の相談も相変わらず多く、年老いた母が息子をたずね、妻が夫を、子が父をたずね探してくる。蒸発したり、家出したりの原因はさまざまであり、日本の国民のきびしい生活の縮図をそこに見る思いがする。これらは、早朝の寄場でマイク放送をしたり、センターの伝言板に書いたりする中で、その所在が分るものもあるが、そうは簡単にみつからないのが殆んどである。

生活に困っているのに、身体が悪くて入院しているので、とクニへ電話をかけ送金依頼をしてあげたり、手紙を代筆したり、住民票戸籍沙本をとり寄せる手伝いをしたり、遠く沖縄へ、母の病状を心配する電報を打ってあげたりもする。

今年は世相を反映して、交通事故の相談も多かったようである。身寄りもなく、相談相手もない弱い立場におかれる被害者のために、病院の世話、見舞をし、損害賠償の請求など複雑で根気のいる仕事もかわってしてあげ、そこでは肉身にかわるような働きがなされる。

その他、8年ぶりに故郷へ帰ってきた。父や母も大変喜んでくれ、ぼつぼつおよめさんでももらえ、といわれたよ、などから、東京で戦災のため両親兄弟を失い、天涯孤独になって大阪で働いている話など、労働者のいろいろな話相手にもなってゆく。

中には、友人がアル中で精神病院に入院しているが、福祉で入っているのに院長許可がなかったら出してくれない。黙っておればいつまでも出してもらえないから、出られるようにしてやってくれ。その病院はひどいところで、タコ部屋の飯場以上、彼が可愛想だ。作業療法という名で仕事も長時間させられる。しかもそのかせぎは全部病院が戴きた。看護人も少なくて、監査の時は近くの幼稚園の先生を借りて白衣を着させる、などと、恐るべき精神病院の実態がはからずも明らかにされることもある。

そのほか、手配師が20才ばかりの子供を連れてきて「昨日、仕事にいかんかと誘ったら、いくというので京都の飯場に連れて帰ったが、どうも様子がおかしいので、オカミさんがセンターに連れていけ」といったから……、というのである。本人から事情を聞くと、そのたどたどしい話の断片から、本人が精薄施設にいた様子が判り、これとめぼしい施設に電話してみると「実は雨の中を出て行ったきりで心配して探していたのです」と先生がとんで迎えにきてくれ、本人もよるこんで子供のように泣きじゃくって帰っていったこともある。

千客万来、実にさまざまな人が、さまざまの問題を

もって、センターを訪れてくるわけだが、私たちは十分にその期待に応えてはいない。労働者の不満や苦情もそこから出てくる。職員がもっといたら、無権利な

状態におかれているこの地域の2万人にもおよぶ日雇労働者の生活と権利もなお一層守られているに違いないと残念である。

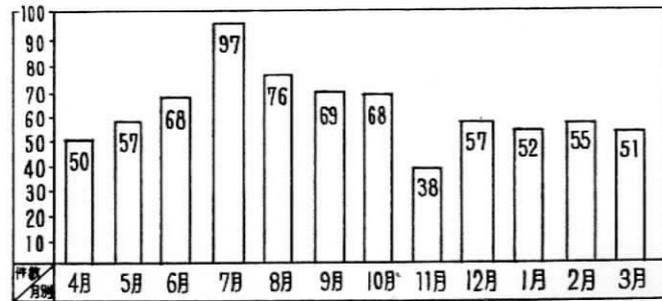
44年度相談取扱状況

事項 年月	職業 相談	事故相談										家庭 身上 相 談	生活 相 談	教 護	そ の 他	合 計		
		条件違反		賃金未払		労働災害			暴 力									
		現	飯	現	飯	手 続	立 替	立 替 件 数										
44年																		
4	470 (80)	38	31	22	164	159	74	82	43	1,806	11	158 (117)	70	34	211	3,373		
5	423 (80)	29	14	47	248	165	43	96	55	1,762	5	122 (95)	65	21	185	3,279		
6	472 (88)	30	36	16	200	192	98	119	65	1,915	4	137 (107)	124	46	169	3,624		
7	428 (140)	39	41	29	231	253	76	100	33	2,195	13	104 (71)	118	41	193	3,894		
8	395 (95)	49	32	19	242	225	92	97	62	2,638	4	126 (80)	106	33	215	4,335		
9	410 (122)	22	41	37	208	315	135	147	85	2,832	9	116 (90)	72	38	172	4,639		
10	354 (92)	52	32	35	202	239	143	152	113	2,942	4	151 (125)	68	42	198	4,727		
11	435 (170)	15	13	41	141	276	95	111	80	2,716	3	103 (81)	39	30	226	4,324		
12	285 (66)	4	23	14	179	277	103	114	49	2,678	5	138 (123)	52	23	179	4,123		
45年																		
1	374 (98)	9	20	22	146	197	64	121	33	2,711	2	91 (73)	34	24	193	4,041		
2	383 (102)	19	16	37	175	252	99	106	56	2,750	6	106 (80)	68	40	237	4,350		
3	400 (94)	7	23	18	229	198	77	92	35	2,825	2	136 (106)	70	39	232	4,383		
計	4,829(1,227)	313	322	337	2,365	2,748	1,099	1,337	709	29,770	68	1,498(1,108)	886	411	2,410	49,092		

- (1) 職業相談の()は登録数 (2) 家庭、身上相談の()は来信数を表わす。
 (3) 現は現金仕事、飯は飯場を表わす。

44年度賃金不払事故相談処理状況(記録されたケース)

1. 月別相談受理件数



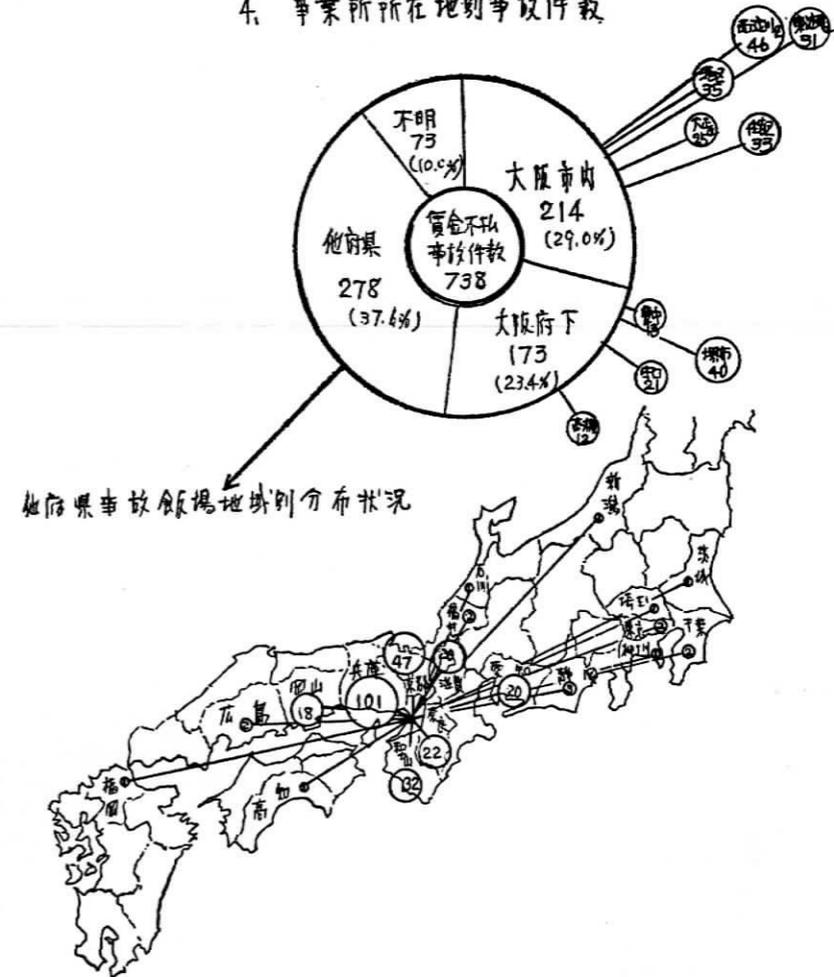
2. 退職から相談にくるまでの日数

1日～1週間以内	406件	55.0%
8日～2週間以内	69件	9.3%
15日～1ヶ月以内	86件	11.6%
1ヶ月以上	100件	13.5%
不明	78件	10.6%

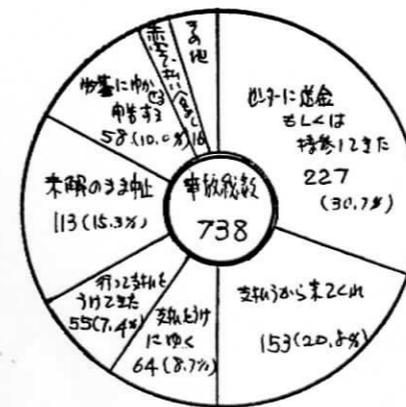
3. 相談から解決までの日数

1週間以内	363	59.3%
1週間～2週間以内	56	9.2%
2週間～1ヶ月以内	75	12.3%
1ヶ月以上～	117	19.2%

4. 事業所所在地別事故件数



5. 賃金不払事故解決別内訳



6. 就労形態別事故件数

